証券コード　5208
https://www.arisawa.co.jp

2024年3月期 第２四半期
連結決算の概要

株式会社有沢製作所

2023年11月9日

目次

■　2024年3月期 第２四半期 連結決算
□　2024年3月期 業績予想
□　参考資料

2024年3月期上期 連結決算

（単位：百万円）	23年3月期 上期実績	24年3月期 8/3予想	24年3月期 上期実績	前期比	予想比
売上高	22,994	20,300	**19,895**	-13.5%	-2.0%
営業利益	1,861	300	**169**	-90.9%	-43.4%
営業利益率	8.1%	1.5%	**0.9%**		
経常利益	2,408	200	**218**	-90.9%	9.2%
純利益	2,563	100	**563**	-78.0%	463.4%
一株利益（円）	77.37	3.01*	**17.02**	-78.0%	465.4%
配当金（円）	0	20.00	**20.00**	--	--
為替レート（円／$） 平均・・・・ 期末・・・・	 123.14 144.81	 135.00 138.00	 135.00 149.58	--	--

＊6月30日現在の発行済株式数で試算

■ 2024年3月期上期 連結決算ハイライト

ARISAWA

前年同期比

・連結売上高は、産業用構造材料が増加したが、電子材料・ディスプレイ材料が減少し、前年同期比30億99百万円（13.5%）の減収。

・営業利益は、売上高、及び生産高の減少に加え、エネルギー費や原材料費価格の高騰の影響により同90.9%の減益。

・経常利益は、前年同期に比べ為替差益が減少し、同90.9%の減益。

・当期純利益は、前年同期に比べ有価証券売却益が減少し、同78.0%の減益。

8/3予想比

・売上高は、主に電子材料が2022年下期以降の需要低迷により減少し、予想比4億5百万円（2.0%）の減収。

・営業利益は同43.4%の減益となったが、予想に比べ為替差益が増加し、経常利益は同9.2%の増益。

・当期純利益は、予想に比べ有価証券売却益が増加し、同463.4%の増益。

損益計算書

（百万円）

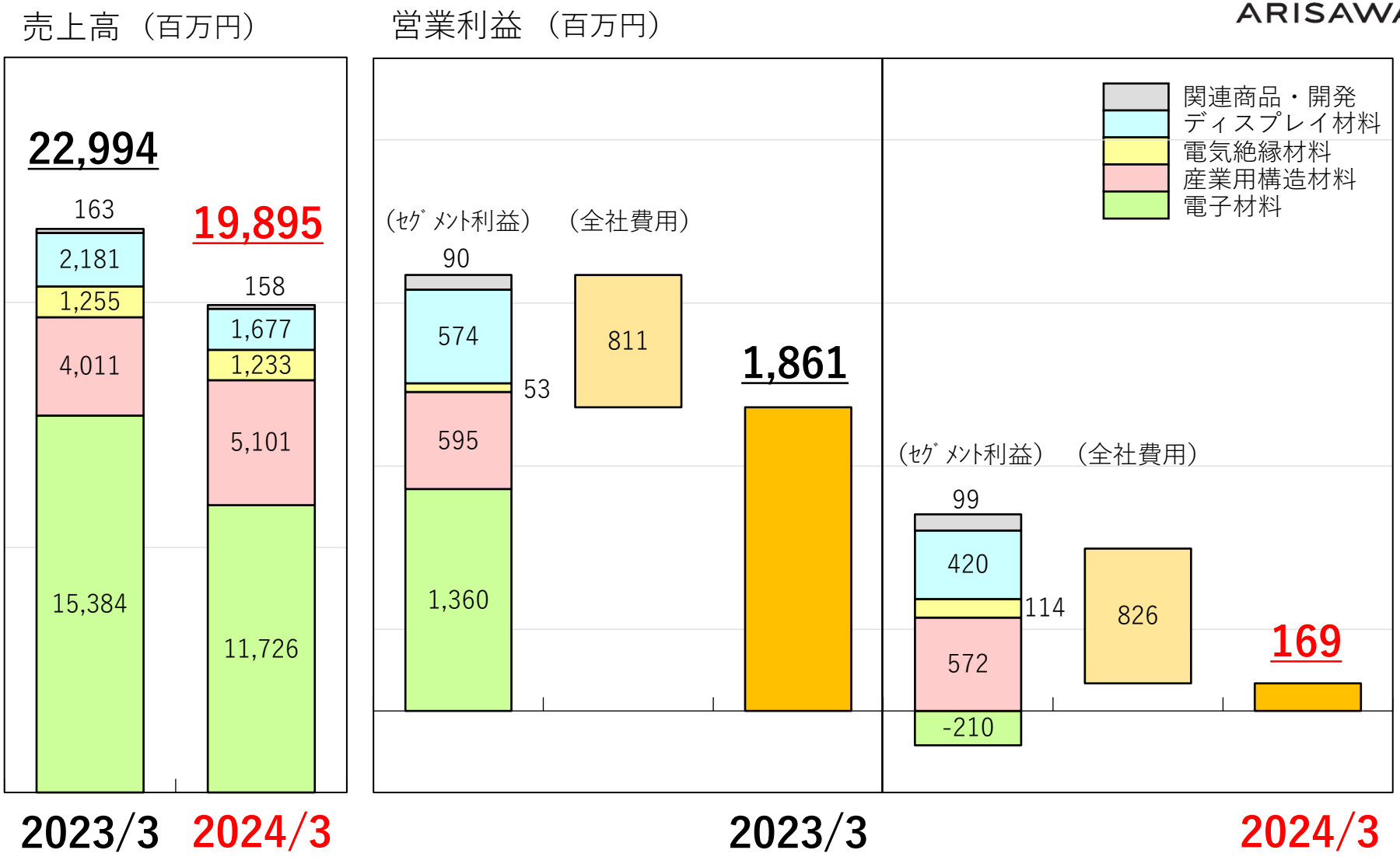
	23.3月期上期実績	24.3月期上期予想	24.3月期上期実績	予想比増減	
売上高	22,994	20,300	**19,895**	－405	電子材料の減収による
売上総利益 販売費及び一般管理費	4,701 2,840		2,897 2,727		
営業利益	1,861	300	**169**	－131	減収に伴う
為替差損益 その他営業外損益	426 121	20	80 -31		
経常利益	2,408	200	**218**	+18	為替差益の縮小による
有価証券売却益 その他特別損益	1,249 25	50	656 -19		
税引前利益	3,682	200	**855**		有価証券売却益の増加による
法人税等他	1,119		292		
親会社に帰属する四半期純利益	2,563	100	**563**	+463	

貸借対照表

（百万円）

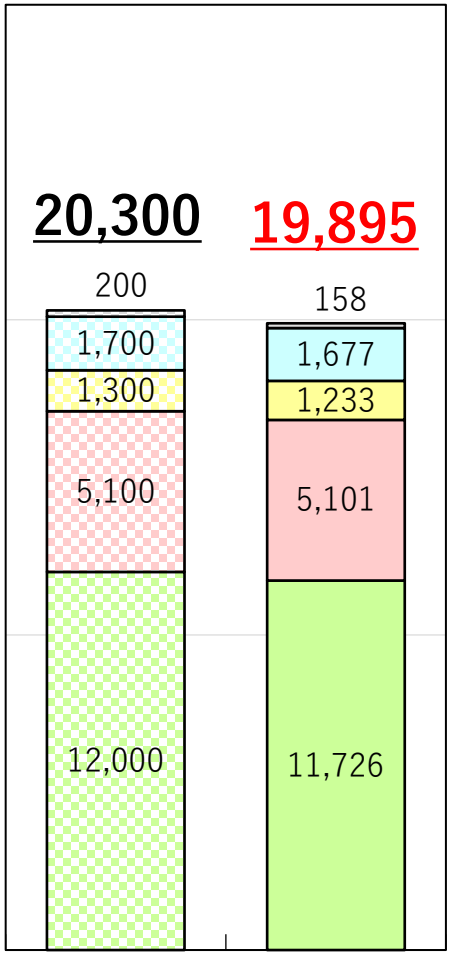
	23.3月	23.9月	増減	
(資産の部)				
流動資産	47,420	47,235	-185	売掛債権増、現預金減少
有形固定資産、無形固定資産	16,690	17,574	884	設備投資による
投資有価証券	2,545	2,008	-537	政策保有株式売却による
その他の資産	1,004	1,166	162	
資産合計	**67,659**	**67,983**	324	
(負債の部)				
流動負債	16,277	17,813	1,536	買掛債務の増加
固定負債	4,275	5,295	1,020	長期借入金の増加
負債合計	20,552	23,108		
株主資本	44,826	41,801	-3,025	利益剰余金の減少
その他包括利益合計、新株予約権	2,281	3,074	793	
純資産合計	**67,659**	**67,983**	324	

■ 2024年3月期上期の前期比増減分析



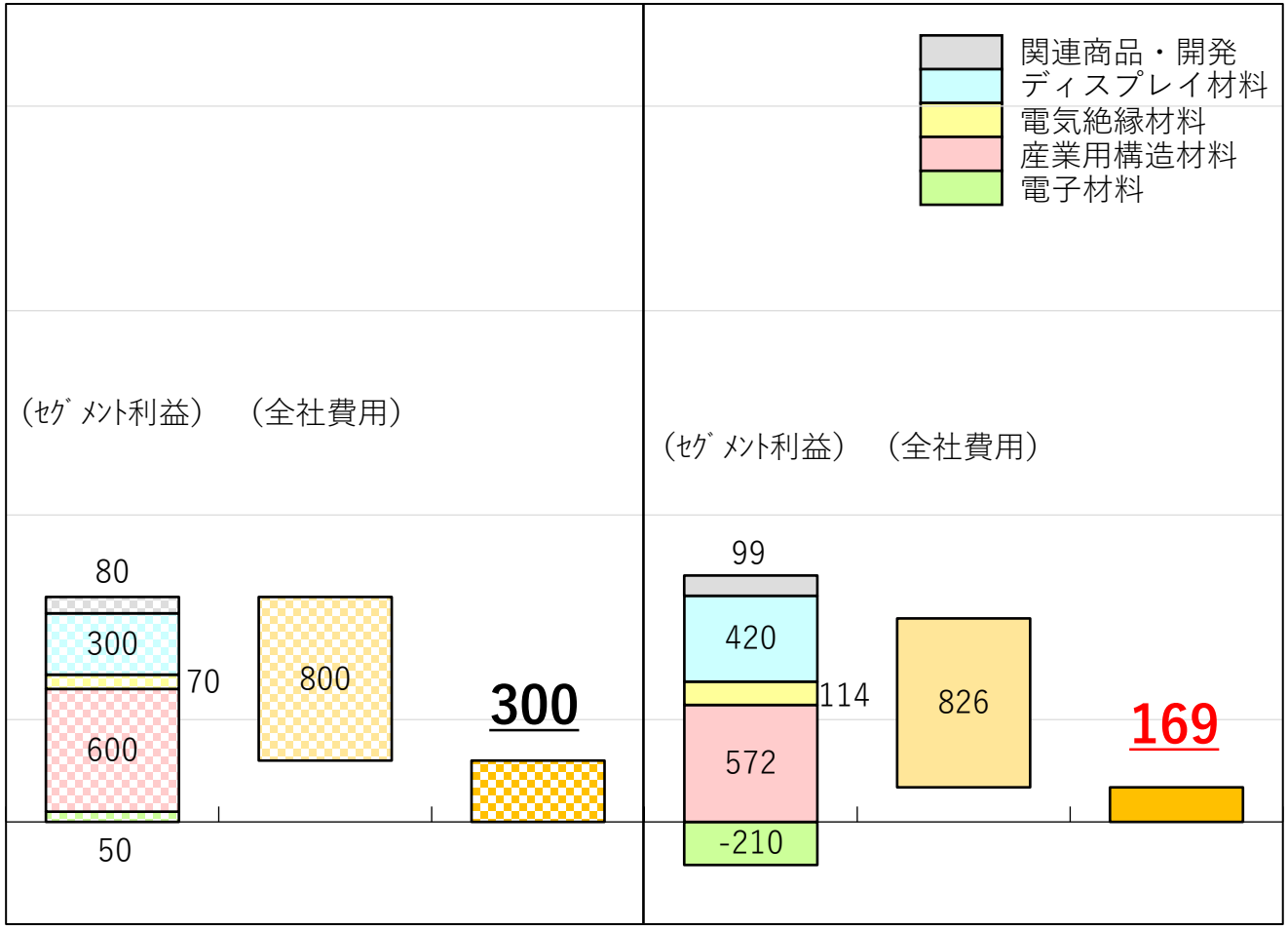
■ 2024年3月期上期の8月3日予想との増減分析

売上高（百万円）



8/3予想　実績

営業利益（百万円）



8/3予想　実績

■ 2024年3月期上期の概況 ‥ 電子材料

ARISAWA

市況

・2022年下期より顕在化した、パソコンやスマートフォン、それらに使用される半導体の需要低迷が継続。足元では底打ちしたと見られるものの、本格的な回復には至っていない。

業績 ‥前年同期比

・FPC用材料、プリント配線板、ICGC･プリプレグが減少し、前年同期比 36億58百万円（23.8%）の減収。

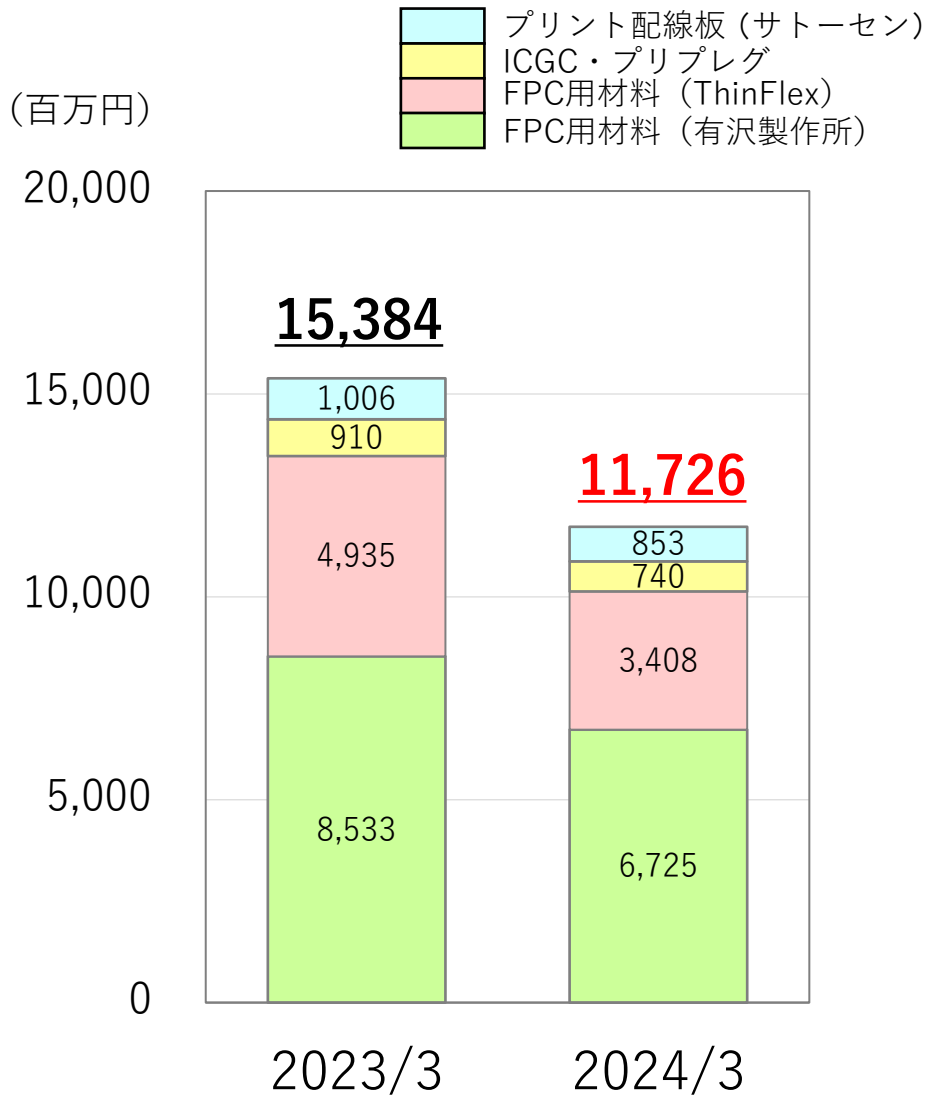
・売上高減少に加え、受注回復の遅延に伴う生産減少、さらに原材料やエネルギー価格の高騰もあり、セグメント利益は同15億70百万円の減益。

業績 ‥8/3予想比

・2022年下期以降の需要低迷がプリプレグ、プリント配線板にも波及し、予想比2億74百万円（2.3%）の減収。

・売上高減少、受注回復の遅延に伴う生産減少により、セグメント利益は同2億60百万円の減益。

■ 電子材料の上期売上推移



・ICGC・プリプレグは、前年同期比18.7%減収。

・FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要減少により、同30.9%減収。

・FPC用材料(有沢製作所)は、半導体向けの減少等により、同21.2%減収。

■ 2024年3月期上期の概況 ‥産業用構造材料、ディスプレイ材料

ARISAWA

市況

・世界的な水不足を背景に水処理需要が旺盛なほか、コロナ後の経済正常化に伴い航空機産業が回復し始め、航空機用材料の生産も増加基調にある。
また、環境負荷低減に向けた新エネルギーの開発も活発化しており、当社においても開発案件が増えている。

業績‥前年同期比

・産業用構造材料；水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。
航空機内装用ハニカムパネルが前年同期比増加。

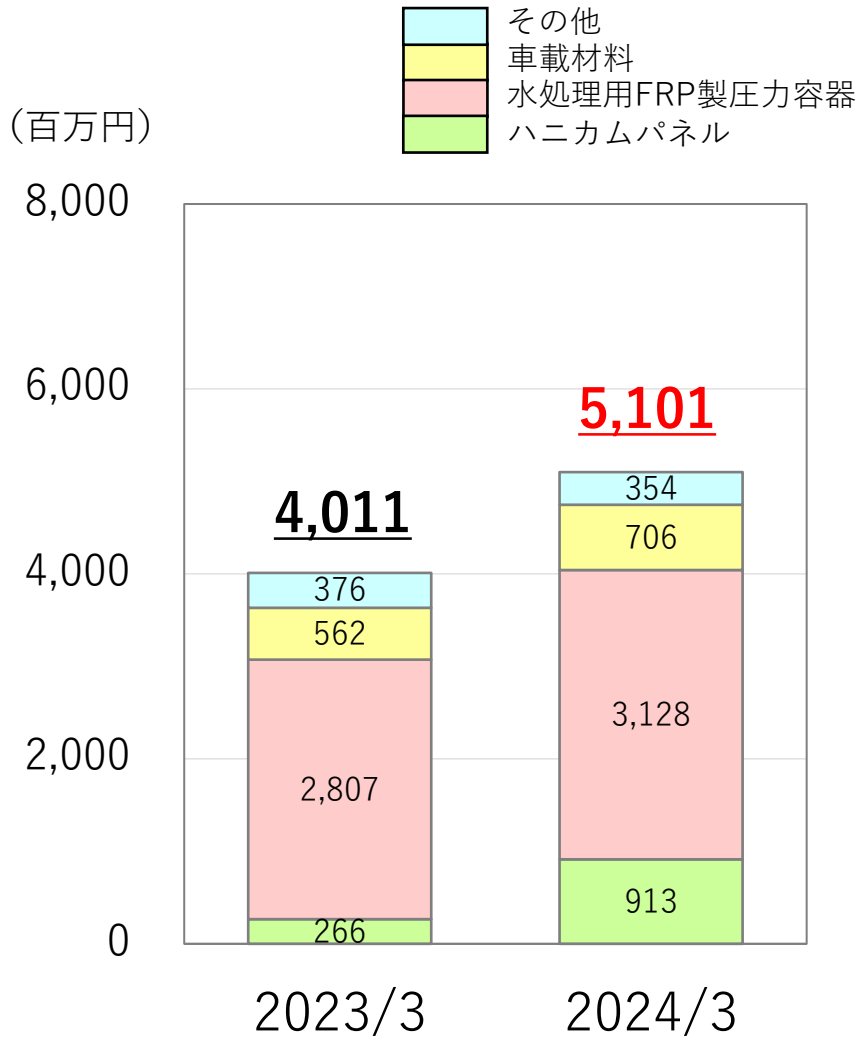
・ディスプレイ材料；3D関連材料、偏光利用部材が減少。

業績‥8/3予想比

・産業用構造材料；ほぼ想定どおりに推移。

・ディスプレイ材料；セグメント利益は製品ミックスの変化により増加。

■ 産業用構造材料の上期売上推移



・車載材料は、自動車生産の混乱が収束し、前年同期比25.8%増収。

・水処理用FRP製圧力容器は、生産能力増強、製品ミックスの変化、為替影響等により同11.4%増収。

・ハニカムパネルは、同242.8%増収。

目次

□　2024年3月期 第２四半期 連結決算
■　2024年3月期 業績予想
□　参考資料

■ 通期連結業績予想（8月3日予想との比較）

ARISAWA

（単位：百万円）	23年3月期 通期 実績	24年3月期 8/3予想	24年3月期 11/9予想	前期比	予想比
売上高	42,722	45,300	**42,600**	-0.3%	-6.0%
営業利益	2,228	2,100	**1,250**	-43.9%	-40.5%
営業利益率	5.2%	4.6%	**2.9%**		
経常利益	2,717	2,100	**1,250**	-54.0%	-40.5%
純利益	2,856	1,800	**1,350**	-52.7%	-25.0%
一株利益（円）	86.46	54.26*	**40.78****	-52.8%	-24.8%
配当金（円）	90.00	合計 45.00	合計 **45.00**	--	--
為替レート（円／$） 平均・・・・ 期末・・・・	 131.62 133.53	 136.00 135.00	 141.00 140.00	--	--

* 6月30日現在での株式数で試算　　** 9月30日現在での株式数で試算

■ 2024年3月期通期連結業績予想ハイライト

ARISAWA

前期比

・連結売上高は、主に電子材料が減少し、前期比 1億22百万円（0.3%）の減収。

・営業利益は、売上高の減少、及びそれに伴う生産高の減少、エネルギー費や原材料価格の高騰の影響により同43.9%の減益。

・経常利益は、前期に比べ為替差益が減少し、営業利益の減少率を上回る同54.0%の減益。

・当期純利益は、前期に比べ有価証券売却益が減少し、同52.7%の減益。

8/3予想比

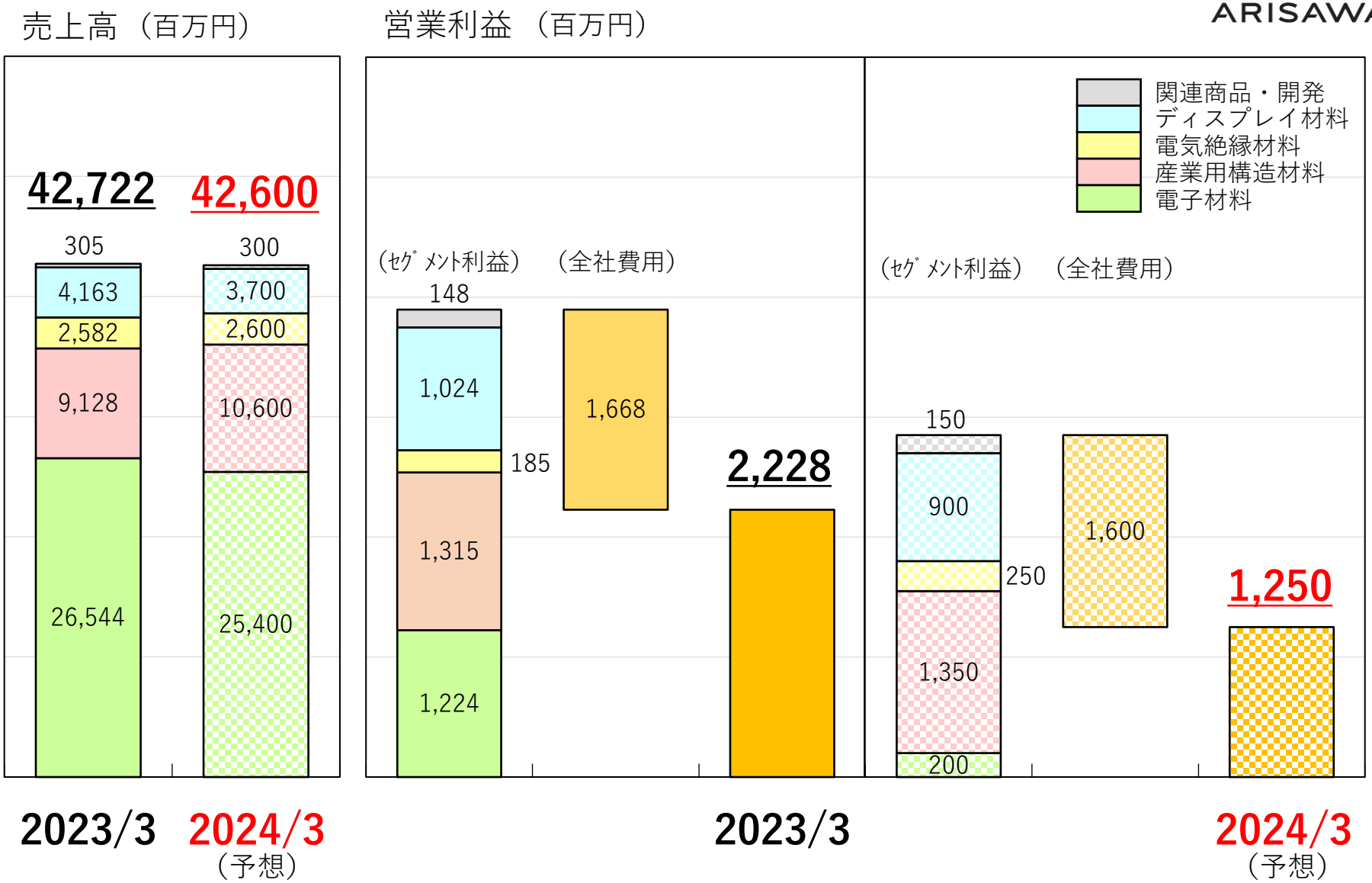
・連結売上高は、主に電子材料の減少により予想比 27億円（6.0%）の減収。

・営業利益は、主に電子材料の減少により同40.5%の減益。

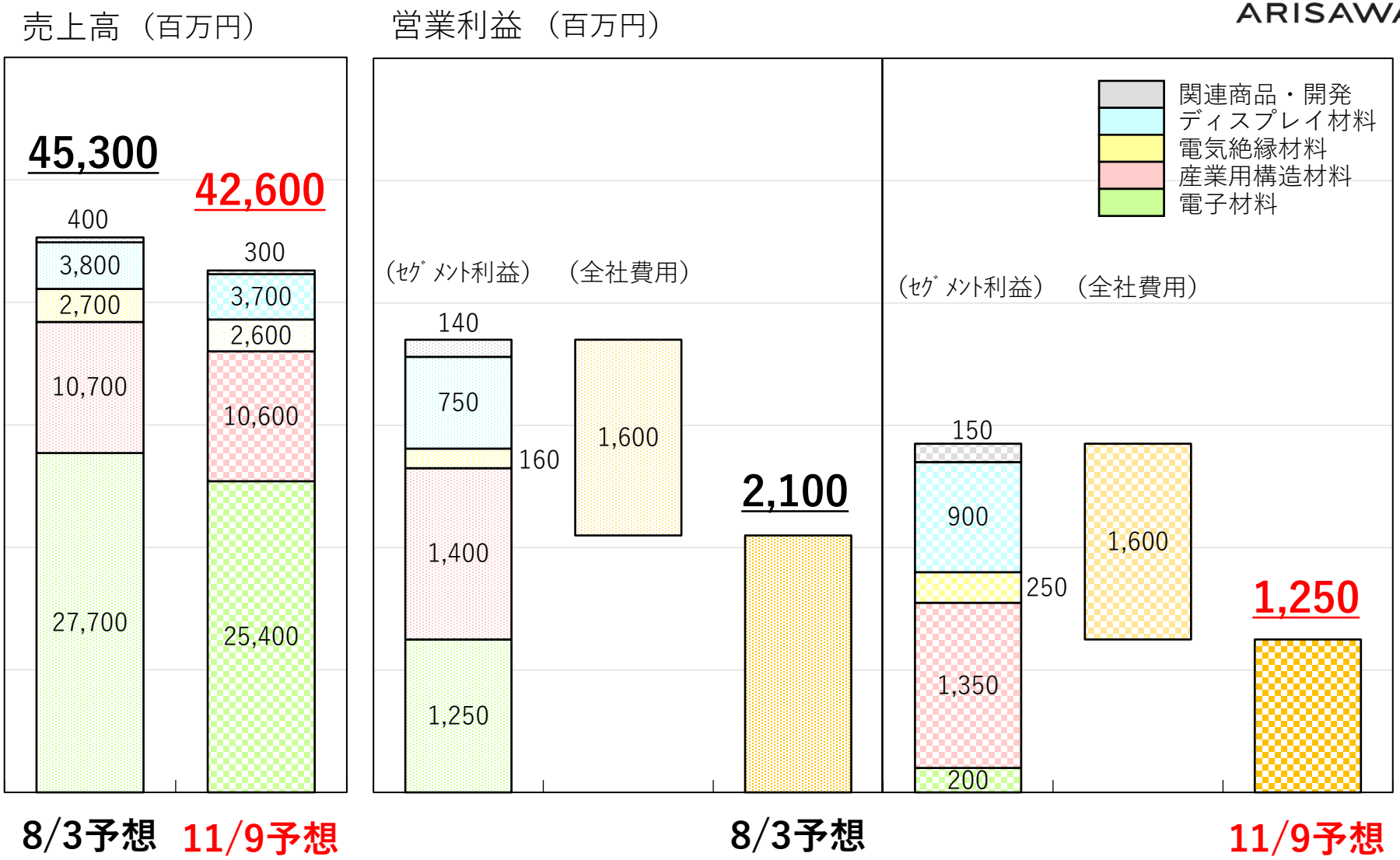
・経常利益は、同40.5%の減益。

・当期純利益は、予想に比べ有価証券売却益が増加し、経常利益の減少率を下回る同25.0%の減益。

■ 2024年3月期通期予想の前期比増減分析



■ 2024年3月期通期の8月3日予想との増減分析



■ 2024年3月期通期予想の概要

ARISAWA

市況予想

・2022年下期より顕在化した、パソコンやスマートフォン、それらに使用される半導体の需要低迷が継続。底打ちはしたものの、回復の動きは鈍い。

・一方、コロナ後の経済正常化に伴い航空機産業が回復。水処理需要も堅調に推移する。

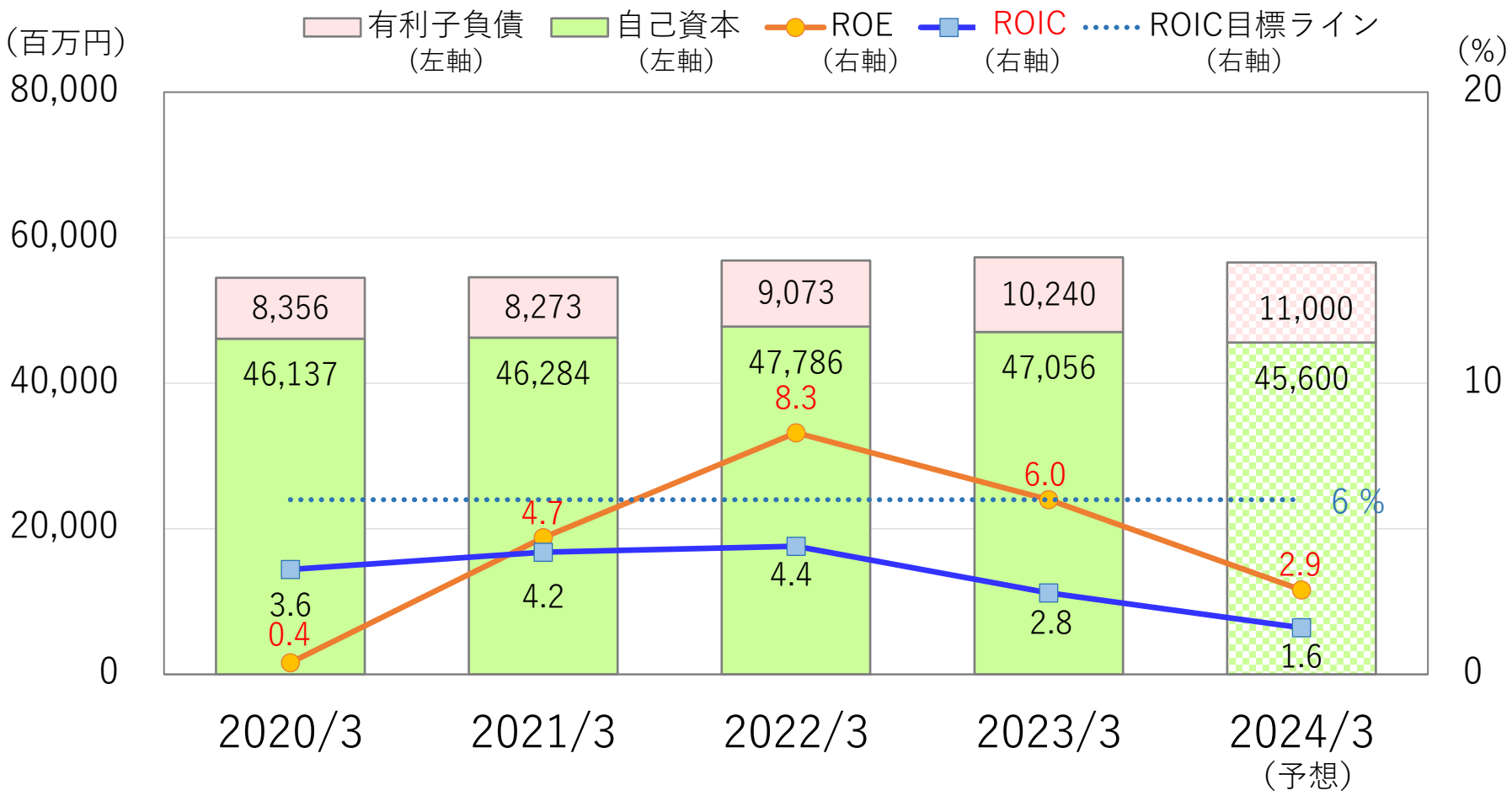
業績予想

・前期比では、産業用構造材料が売上増により小幅ながら増益を見込むものの、電子材料は中華系スマートフォンの需要低迷、半導体向けの在庫調整により電子材料のセグメント利益が83.7％減少し、連結営業利益は、43.9％減益を見込む。

・8/3予想比では、下期に見込んでいた電子材料の回復が鈍く、電子材料のセグメント利益が 84.0％減少し、連結営業利益は、40.5％減を見込む。

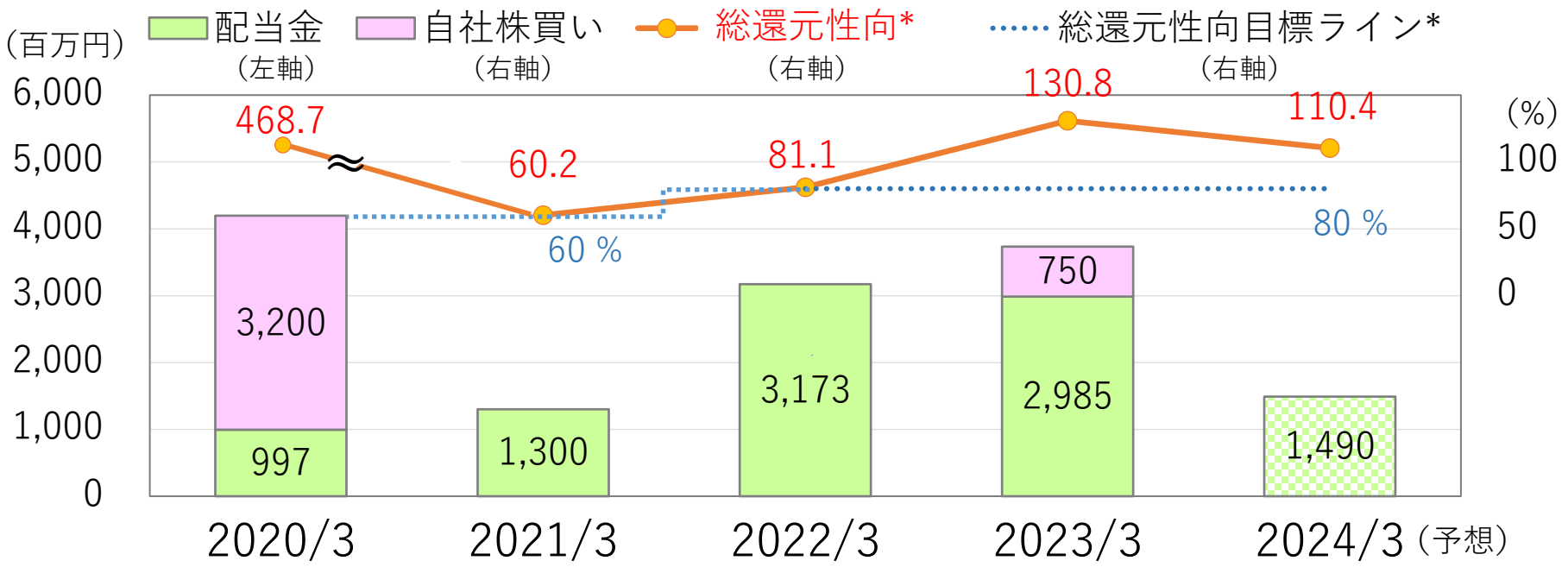
■ ROE・ROICの推移

ROE= 当期純利益 ／ 自己資本　　ROIC=　税引き後営業利益 ／ （自己資本＋有利子負債）



■ 配当金・総還元性向の推移

＊総還元性向は2021年3月期より適用 （2020年3月期までは配当性向）



	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
株価（円/株）**	802	1,000	957	1,254	―
配当金（円/株）	30	39	95	90	45(予想)
配当利回り （%）	3.7	3.9	9.9	7.2	―

＊＊ 各年度末の終値

目次

□　2024年3月期 第２四半期 連結決算
□　2024年3月期 業績予想
■　参考資料

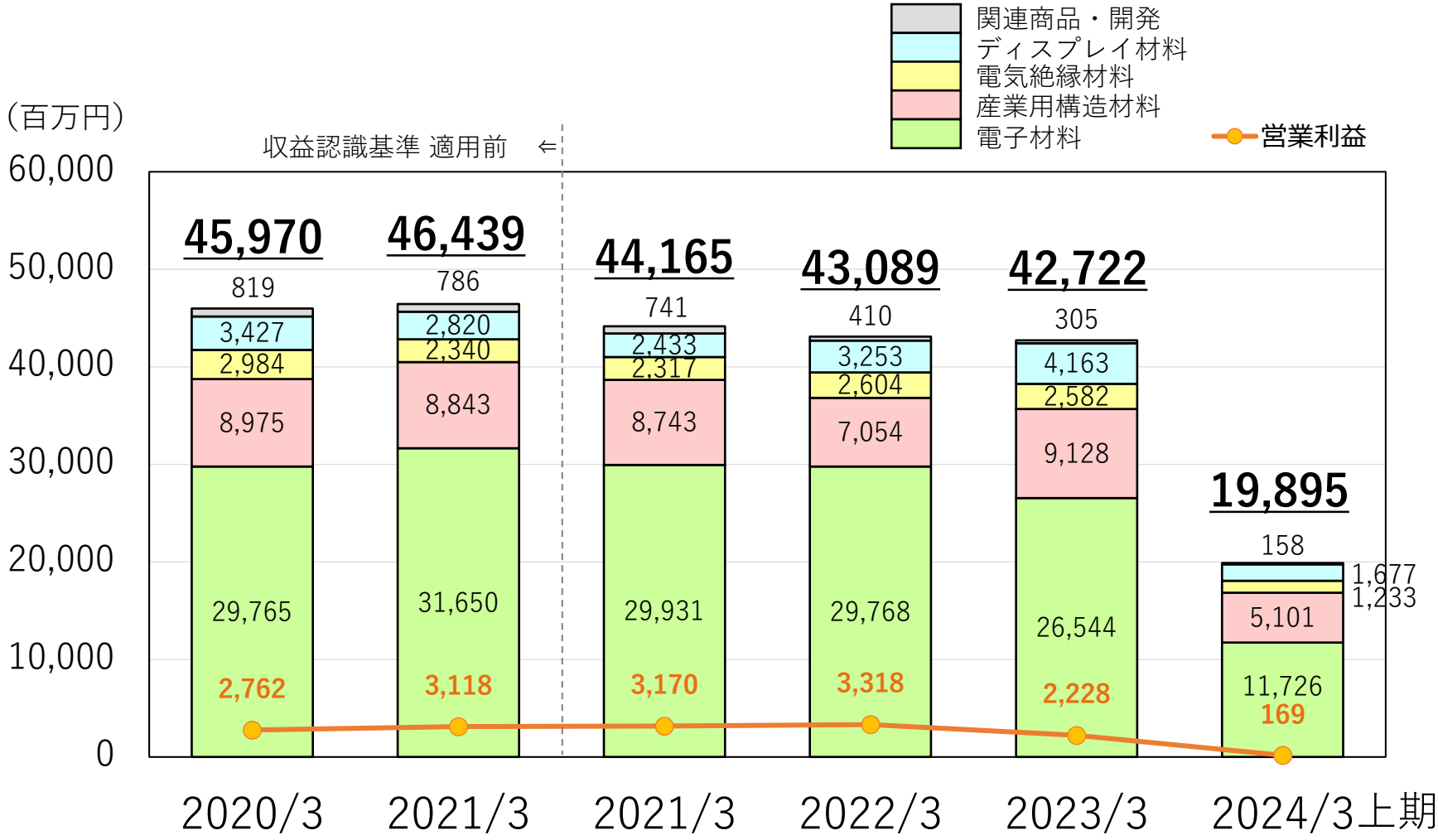
■ 会社別 上期業績（前期比・予想比）

ARISAWA

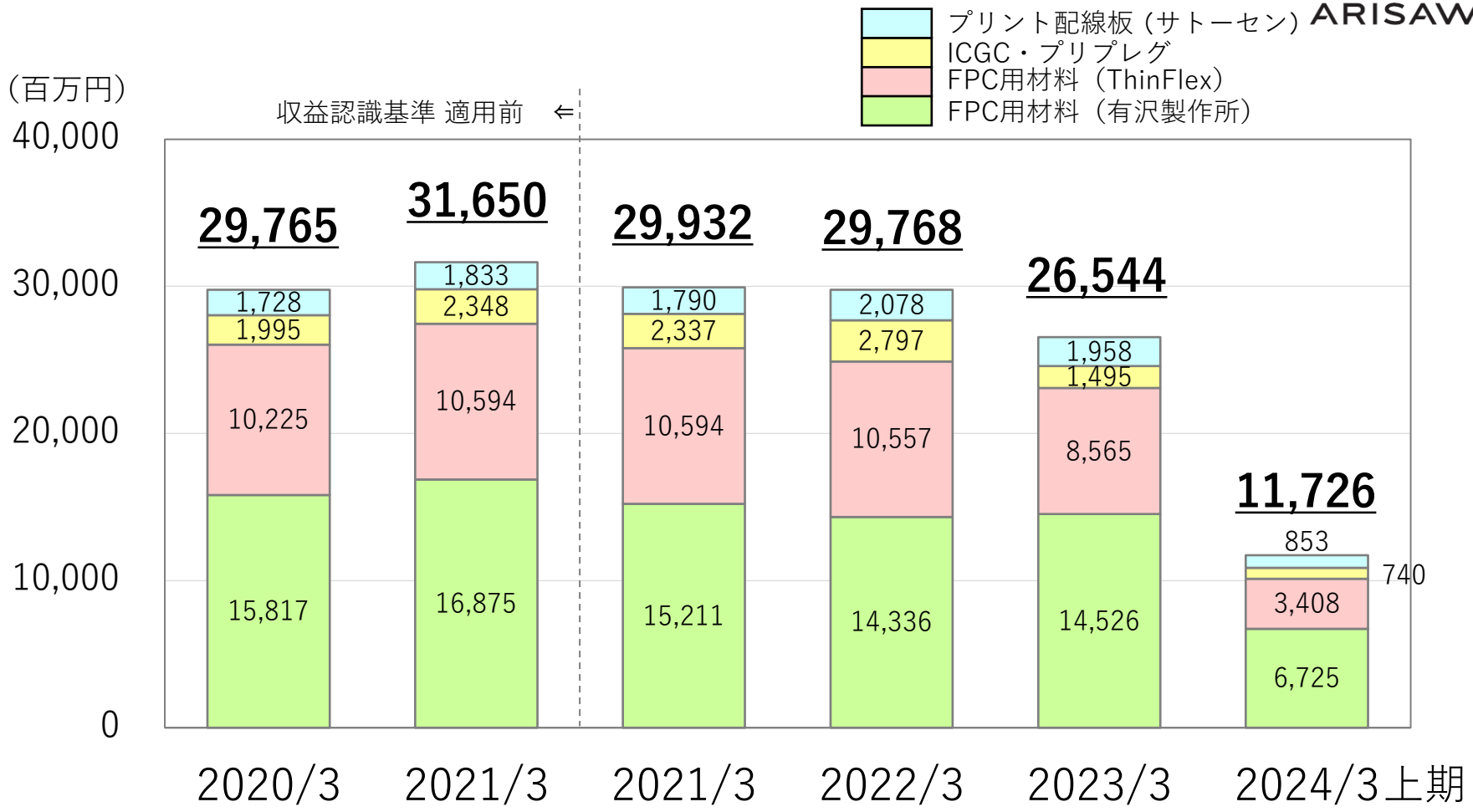
（単位：百万円）

	売上高					営業利益				
	‘23.3月期 上期実績	‘24.3月期 上期予想 (8/3)	‘24.3月期 上期実績	増減 対前期	増減 対予想	’23.3月期 上期実績	‘24.3月期 上期予想 (8/3)	‘24.3月期 上期実績	増減 対前期	増減 対予想
単体										
有沢製作所	14,011	12,800	12,627	-1,384	-173	927	330	198	-729	-132
連結会社										
シンフレックス	5,594	3,600	3,578	-2,016	-22	147	-420	-426	-573	-6
サトーセン	1,007	900	854	-153	-46	7	0	0	-7	0
ｱﾘｻﾜﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ	971	800	805	-166	5	-20	-140	-121	-101	19
プロテック	2,702	3,100	3,061	359	-39	565	430	424	-141	-6
有沢総業	796	850	866	70	16	44	60	62	18	2
有沢樹脂工業	120	150	147	27	-3	1	30	21	20	-9
ｶﾗｰﾘﾝｸ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ	1,177	800	714	-463	-86	208	10	15	-193	5
（連結消去額）	-3,384	-2,700	-2,757			-18	0	-4		
合　計	22,994	20,300	19,895	-2,694	-405	1,861	300	169	-1,692	-131

■ 年度別／分野別の業績推移（売上高・営業利益）

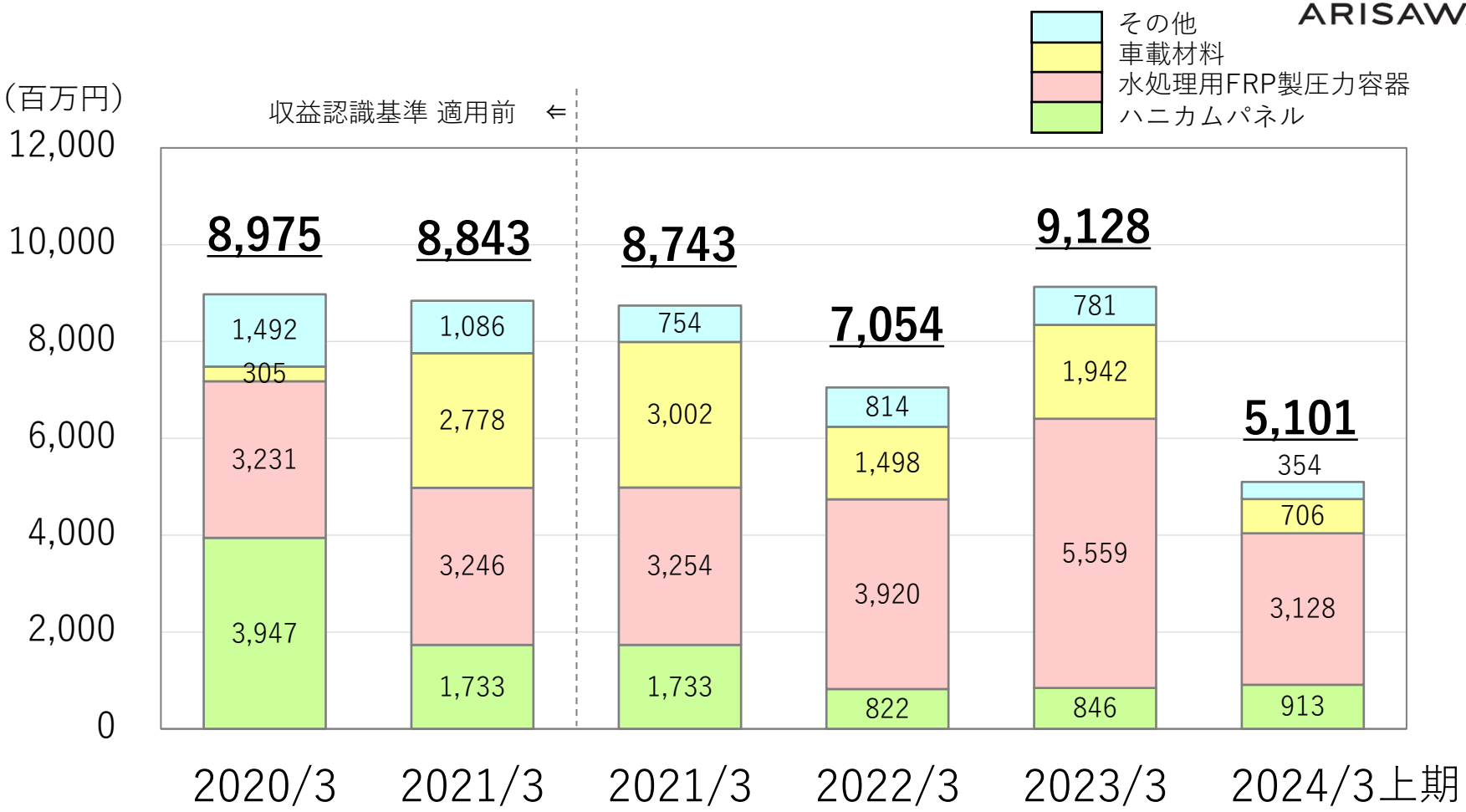


■ 電子材料の売上推移



・2022/3期から収益認識基準を適用。（参考として2021/3期も遡及適用）
・2022/3期下期から中国市場における需要減少。

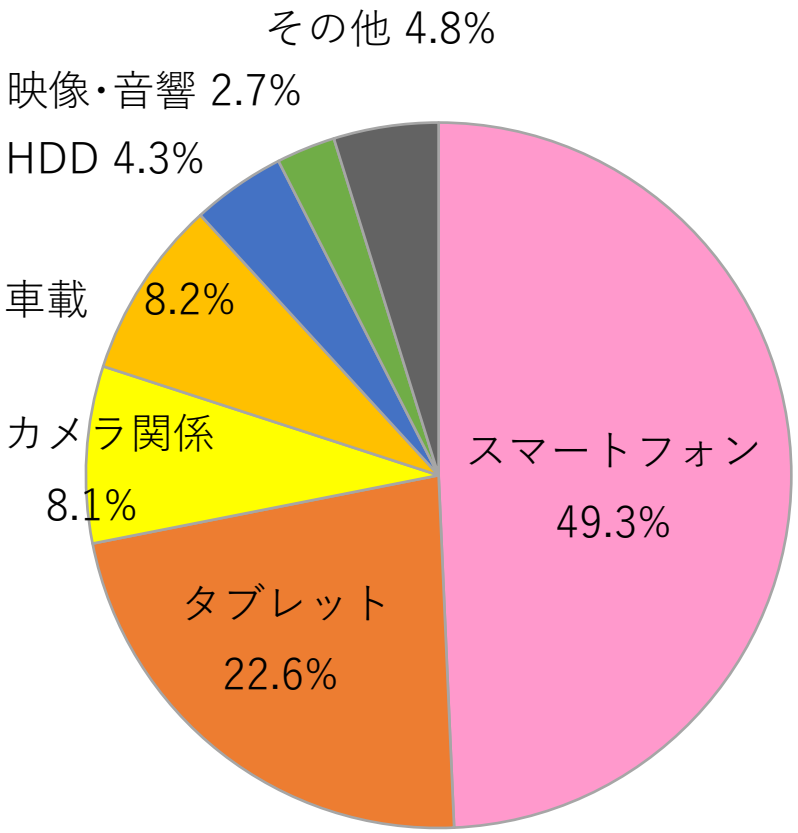
■ 産業用構造材料の売上推移



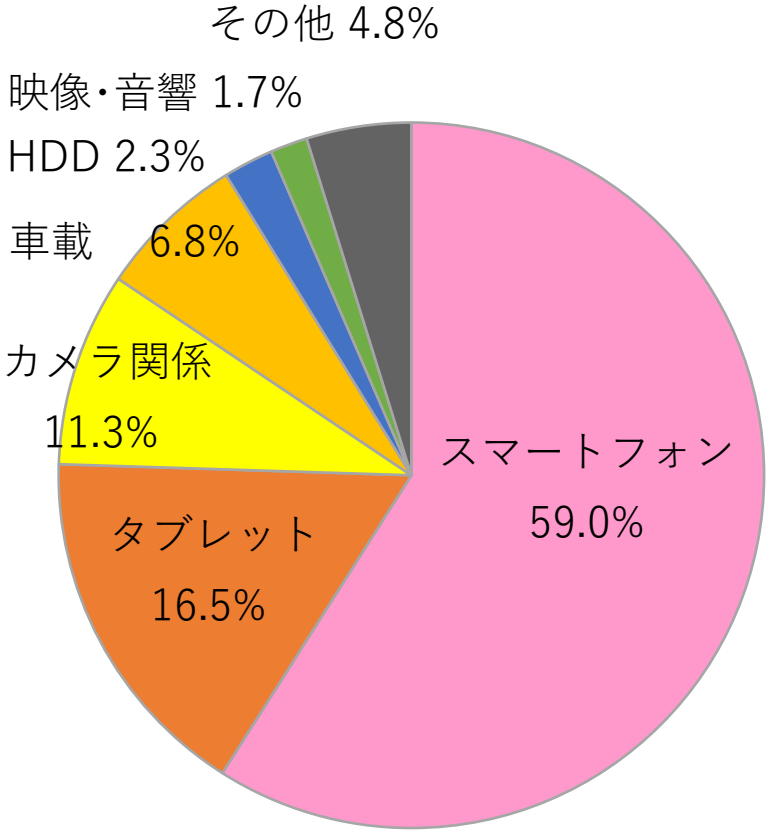
・2021/3期下期以降、コロナ禍の影響によりハニカムパネルが減少。
・水処理用FRP製圧力容器は、生産能力増強により2023/3期より増収。

■ 当社製FPC材料の用途

2023年3月期　上期

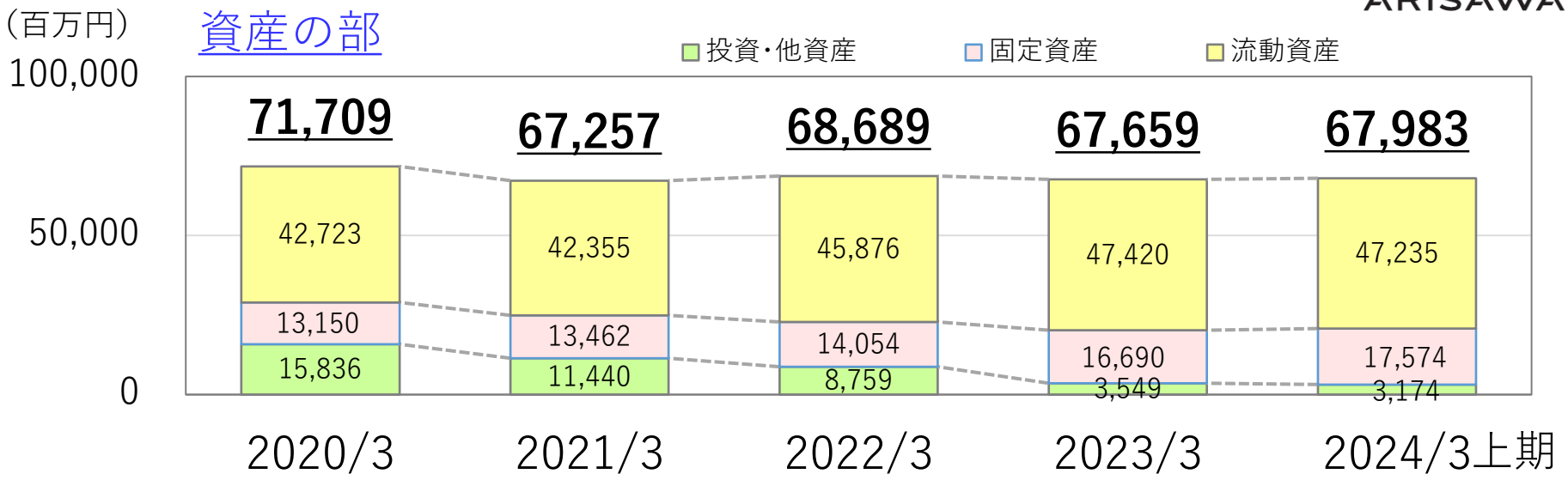


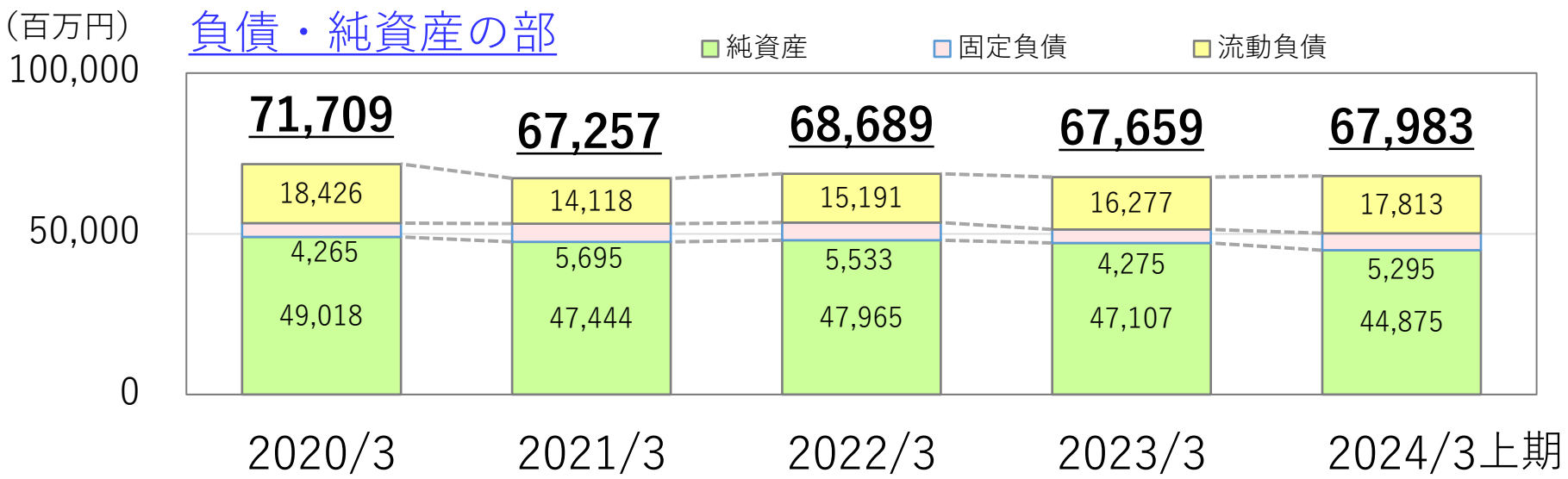
2024年3月期　上期



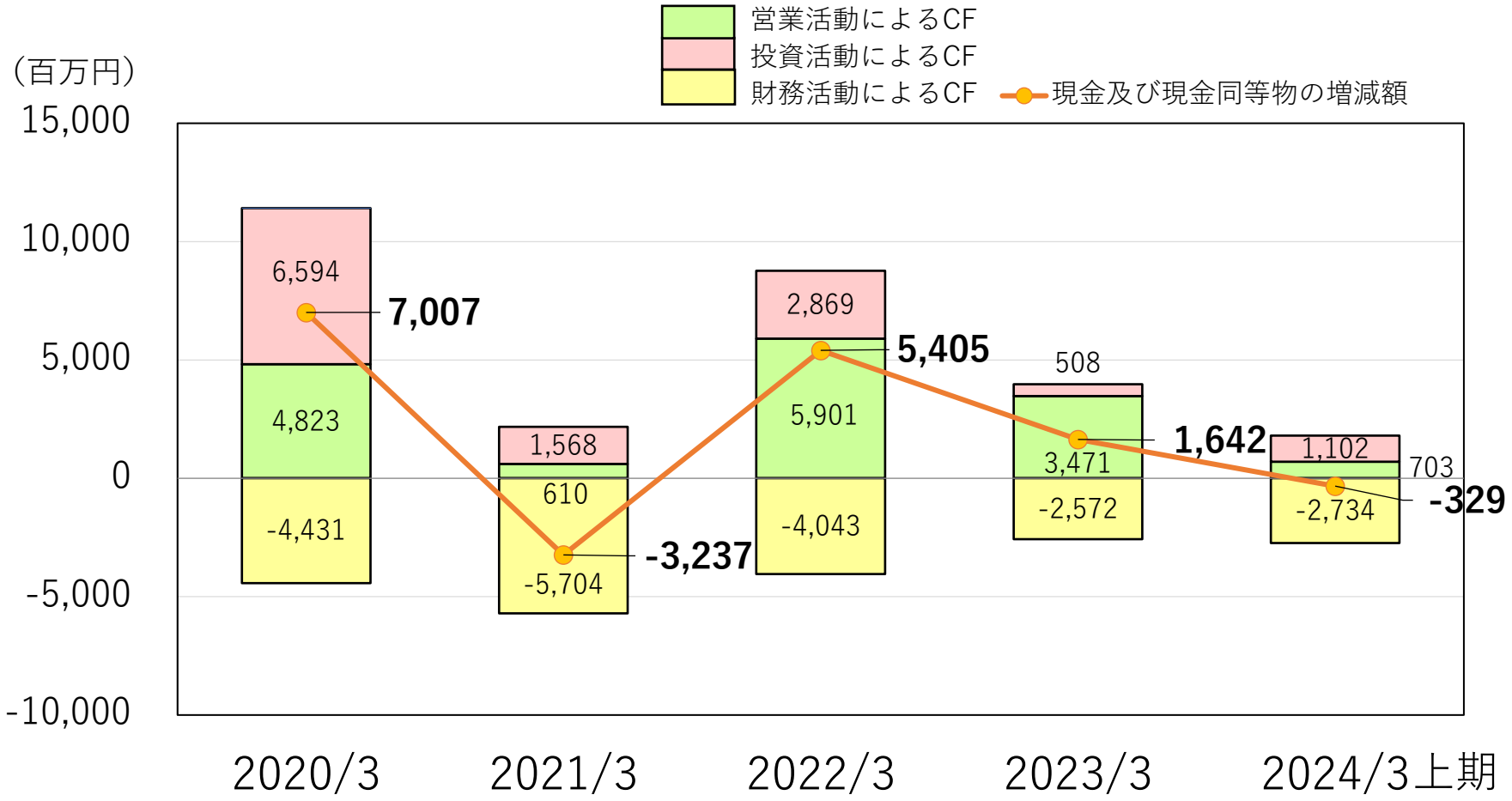
数量ベース
出所：当社推定

■ 連結貸借対照表（要旨）の推移

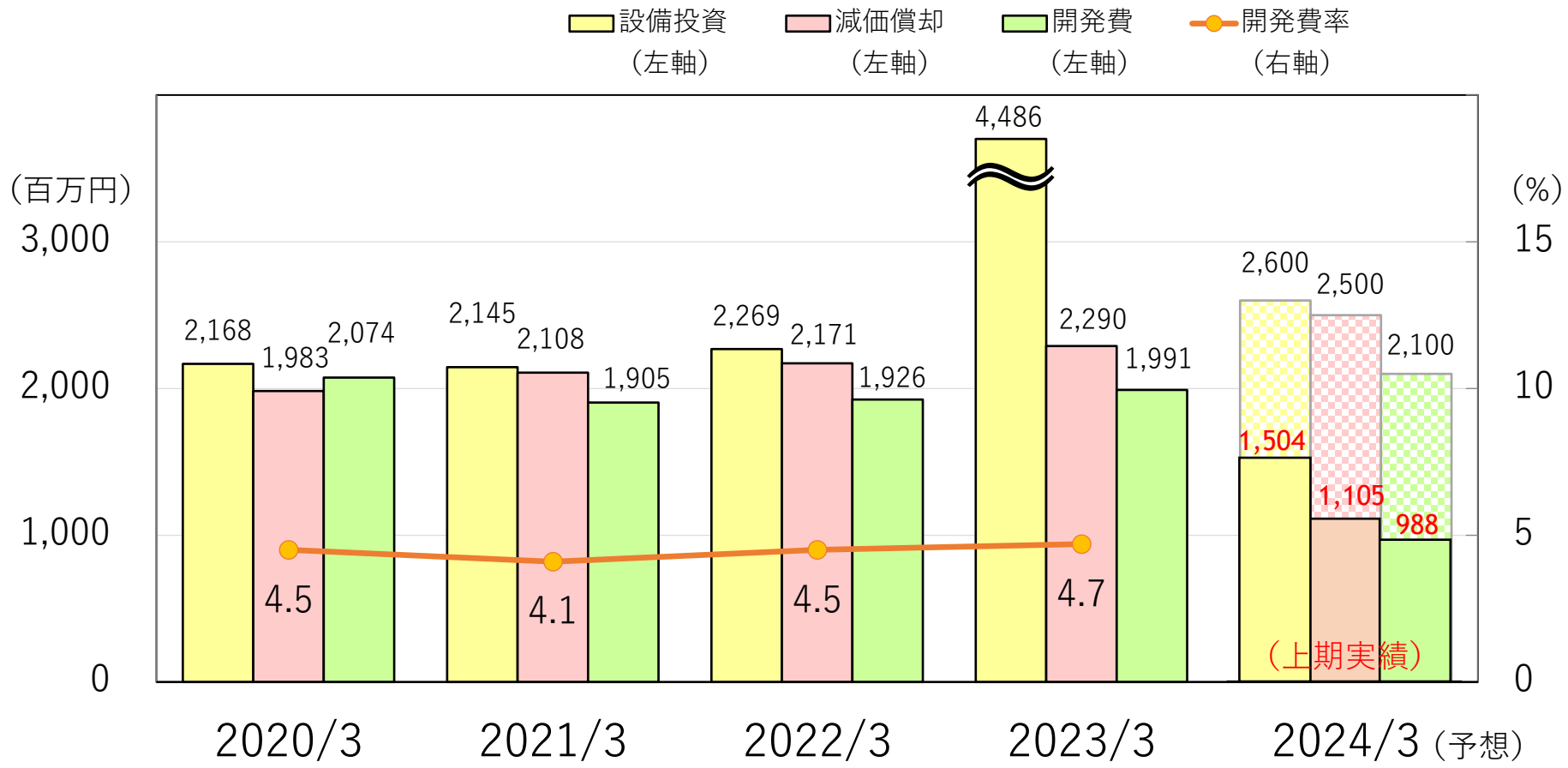




連結キャッシュフローの推移



■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



・2023/3以降、中期経営計画に掲げる設備投資を実行中。

ESGへの取り組み

下記重要課題（マテリアリティ）の解決に取り組み、持続可能な成長を目指す。

マテリアリティ	KGI（目指す姿）	前進が期待されるグローバル目標
脱炭素社会への貢献	・2030年までにｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙを達成 ・省エネルギー、省資源の推進 ・再生可能エネルギーへの代替 ・環境負荷低減材料の提供	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を
多様な人材の育成 働きがいの向上	・次世代人材の育成 ・全ての社員が活き活きと働ける会社	3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう
循環型経済の推進	・排出物の削減 ・持続可能なサプライチェーンの構築	6 安全な水とトイレ を世界中に 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさも 守ろう 14 海の豊かさを 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
ガバナンスの充実	・高い倫理観のある組織 ・風通しの良い組織体制	10 人や国の不平等 をなくそう 11 住み続けられる まちづくりを 16 平和と公正を すべての人に

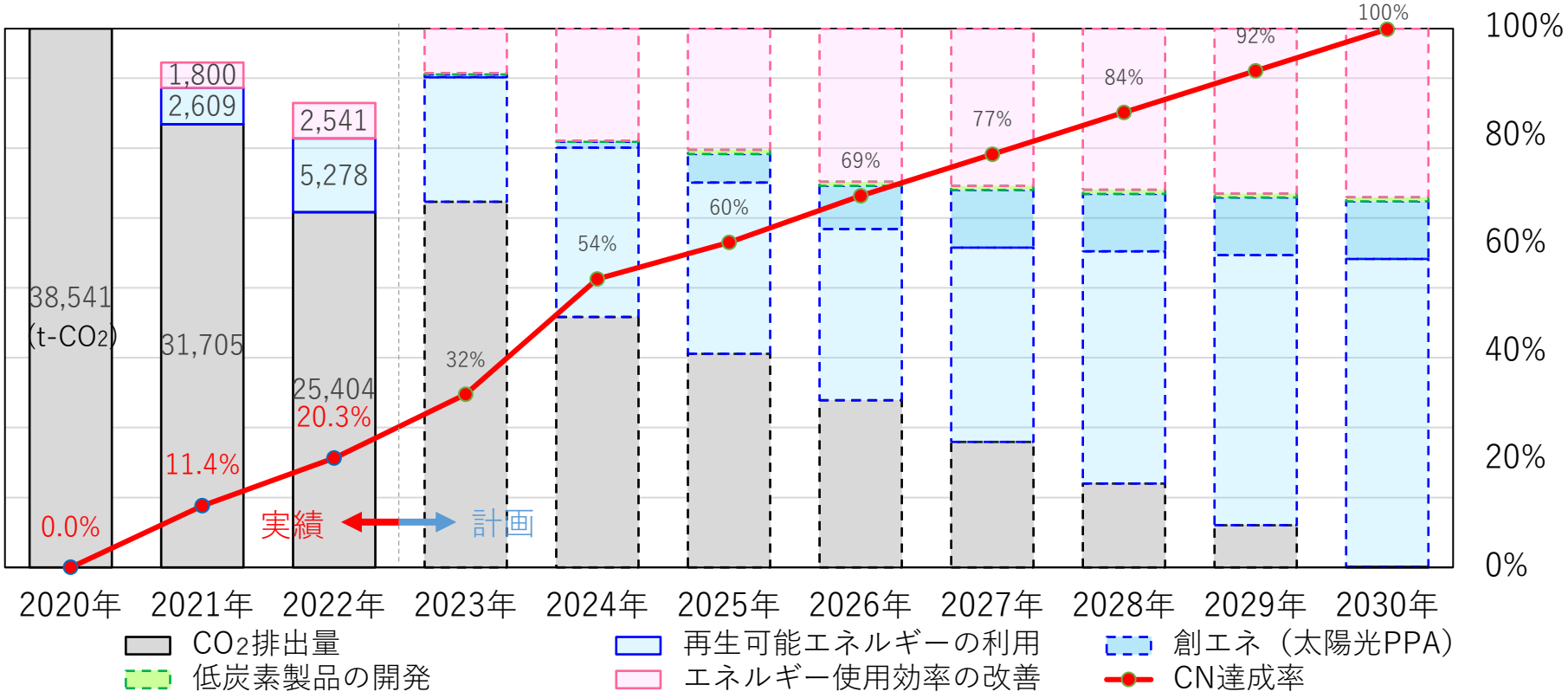
カーボンニュートラルへの取り組み

ARISAWA

目標： 2030年度 カーボンニュートラルの達成 ＊

＊対象：二酸化炭素の直接排出（Scope1） ＋ 間接排出（Scope2）　（2021.6.16公表）

取組み内容：再生可能エネルギーの利用、エネルギー使用効率の改善、
創エネ（畜エネ）、低炭素製品の開発

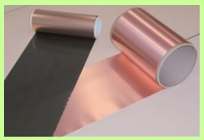
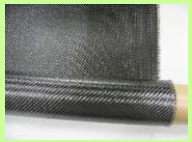
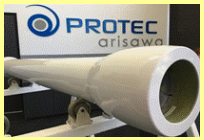
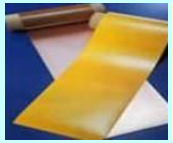
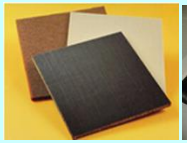
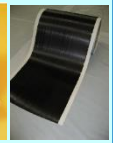


CN(カーボンニュートラル)達成率＝（再エネ・創エネ・低炭素製品・エネ利用効率の合計）／2020年CO_2排出量

■ 開発を通じた社会貢献

ARISAWA

お客様・社会・環境に影響を与えるテーマを選定し、事業を通じて社会貢献を目指す。

社会貢献目標	気候変動への対応	全ての人々の豊かな生活	資源循環と効率化
重要テーマと当社の貢献ストーリー	再生可能・脱炭素エネルギー   FCV、EVへの材料供給により、CO2排出抑制に貢献。脱炭素新エネルギー開発に貢献。	安全・ライフサイエンス  自動運転支援、水処理、医療分野への材料供給により、人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献。	省エネ・省資源    EV、太陽光発電、インフラ設備補強材料、航空機への軽量化材料供給により、省エネ・省資源に貢献。
関連するグローバル目標			

■ 人的資本経営の推進

ARISAWA

多様な人材の育成

- ■ 多様性の確保（女性・障がい者・外国人の活躍推進）
- ■ 公正な評価・処遇（機会均等、実力主義の徹底）
- ■ 研修プログラムによる人材活性化の推進
- ■ 15%カルチャー制度の促進

働きやすい職場づくり

- ■ 育児休暇・介護休暇の取得推進
- ■ 有給休暇の取得推進
- ■ 良好な職場環境の維持と健康維持増進の支援

	’22/3(実績)	’23/3(実績)	’25/3(目標)
女性管理職の比率	12.5%	10.6%	20.0%
中途採用者管理職の比率	68.8%	70.5%	70.0%
女性／男性の賃金格差率	77.6%	80.5%	85.0%
男性の育児休暇取得率	29.4%	42.1%	60.0%
有給休暇取得率	57.2%	65.6%	75.0%

本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料及びその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利若しくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、或いは本資料作成時点における実勢及び当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。